

[成果情報名]ヒメノボタンの早期開花法

[要約] ヒメノボタンを3月に開花・出荷するためには、1月10日から2月1日の間に温室の最低温度を15℃まで上げて管理するとよい。昇温する時期が早いほど開花は早まるが、開花数などの品質は低下する。

[担当] 総農セ・高冷地振興セ・外川高雄、窪田浩一、三宅ひろみ

[分類] 技術・参考

[課題の要請元]

富士・東部農務事務所

[背景・ねらい]

ヒメノボタンは開花期間が長く、人気の高い鉢花である。4月以降が通常の出荷時期であるが、需要期である3月からの出荷が市場などから要望されている。3月に安定して出荷するためには、秋の早い低温など山梨県の気象条件が有利であると推定された。そこで、秋の低温や温室の加温温度などを検討して、早期開花方法を確立する。

[成果の内容・特徴]

1. 12月上旬以降早めに10℃に昇温すると開花が早まる(表1)。また、秋期に最低温度を10℃に維持するよりも、自然低温に遭遇させた方が開花は早まる。しかし10℃の加温では3月中の出荷は難しい。
2. 3月に開花出荷をするためには、1月10日から2月1日の間に最低温度を15℃に昇温すればよい。ただし早く昇温を始めるほど開花数などが減少し鉢花品質が低下する。(表2)
3. さし木本数を増やすと早めに株はできるが、開花は遅れる。(データ略)

[成果の活用上の留意点]

1. 肥培管理は、45日間隔で用土1リットル当たりIB化成2gを施用する。
2. 株が密集しているため、アブラムシなどが発見しにくいので注意し、発見時は早期防除に努める。

[期待される効果]

- ・ 県内鉢花農家の春期のローテーション品目として期待される。

[具体的データ]

表1 最低温度と栽培場所が開花・出荷に及ぼす影響

最低温度	昇温時期 (月/日)	栽培場所	開花日 (月/日)	出荷日±標準偏差 (月/日)	可販率 (%)
10℃	—	吉田	4/1	4/12±7.18	90
		明野	4/1	4/17±4.28	100
2→10℃	12/5	吉田	3/24	4/5±8.66	100
		明野	3/26	4/5±3.92	100
"	12/20	吉田	4/1	4/10±5.56	100
		明野	4/6	4/13±4.03	100
"	1/5	吉田	4/5	4/15±4.79	100
		明野	4/12	4/17±2.87	100
"	1/20	吉田	4/14	4/22±4.91	100
		明野	4/14	4/19±2.46	100
"	2/5	吉田	4/24	4/30±5.06	100
		明野	4/20	4/25±3.34	90
2℃	—	吉田	5/16	5/22±3.42	90
		明野	5/11	5/16±4.12	100

開花日：鉢に最初の1輪が咲いた日

出荷日：鉢に10輪揃って咲いていた日

可販率：10輪揃って開花し、販売できる割合

表2 15℃昇温開始時期が開花に及ぼす影響(H20/10さし区)

昇温時期 (月/日)	開花日 (月/日)	出荷日 (月/日)	開花輪数 (輪)	可販率 (%)
12/20	2/25	3/3	30.6	60
1/10	2/27	3/6	126.0	100
2/1	3/14	3/20	175.1	100
2/20	3/20	3/27	226.3	100
昇温なし	4/3	4/12	254.7	90

開花日：鉢に最初の1輪が咲いた日

出荷日：鉢に10輪揃って咲いていた日

可販率：10輪揃って開花し、販売できる割合

開花輪数：10輪開花日に、肉眼で目視できる蕾の数

[その他]

研究課題名：ヒメノボタンの開花促進法

予算区分：県単（重点化）

研究期間：2007～2009年度